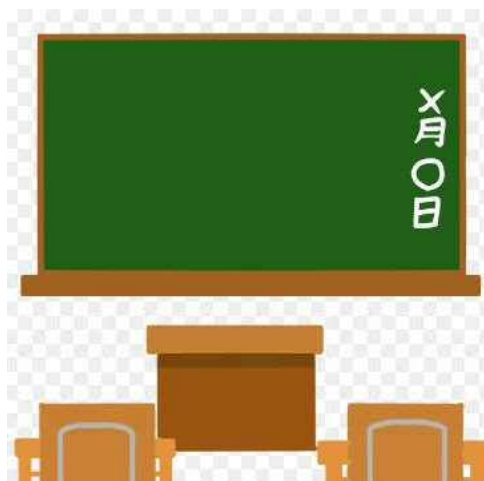




学力向上のための「8つの教育施策」について



令和5年12月

海老名市教育委員会



1

授業改善に取り組んでいます

平成 30 年度より、重点施策として「授業改善」を掲げ
全教員で「よりよい授業づくり」に取り組んでいます。



学習指導要領で示されている、「主体的・対話的で深い学び」の
視点に立った授業改善を行っています。

令和 5 年度は、元文部科学省視学官を小学校 2 校、中学校 2 校
に招き、授業改善にむけた実践的な取組を実施しています。

また、教科指導等充実のために、研究会等を立ち上げ、よりよ
い授業づくりのための研究を進めています。

令和5年度予算

1,613万8千円

2

ICT活用教育を推進しています

わかりやすく楽しい授業を展開するために、ICT機器
を活用した教育を進めています。



全児童生徒に 1 人 1 台端末を整備し、プロジェクタ、大型テレ
ビ等の ICT 機器と併せて、活用しています。

今後、授業での学びのツールの一つとしての効果的な活用方法
について研究していきます。

令和5年度予算

2億8,128万3千円

3

ALT（外国人指導助手）を配置しています

小学校の外国語・外国語活動や中学校の英語科におけるコミュニケーション活動を充実させるため、ALT（外国人指導助手）を配置しています。



令和5年度は、13名のALTを市内小中学校19校に配置しています。

さらに、1つの小学校に13名のALTを同日に配置し、1日を通じて英語に親しむ『English day』にも取り組んでいます。

令和5年度予算
7,312万5千円

4

教員の研修・研究を推進しています

教員の指導力を高めるために、指導法講座などの研修会を開催しています。また、各学校での校内研究会をサポートしています。



毎年、小学校2校、中学校1校を研究校に指定し、翌年に研究の成果を「ひびきあう教育研究発表大会」で報告しています。

令和5年度の研究校は、社家小学校、杉久保小学校、大谷中学校です。

また、講師を招いた研修会や実技講座を開催し、教職員の資質向上を目指しています。

令和5年度予算
912万3千円

5

……少人数学級、少人数指導のための教員を配置しています……

ひとりひとりの子どもの学力に応じたきめ細かな指導を目的として、市費で非常勤講師を配置して、35人以下の学級や少人数での学習指導を行っています。



他市に先駆けて、平成17年度からスタートし、令和5年度も引き続き、小中学校に非常勤講師を配置しています。

令和5年度予算
2,320万2千円

6

……補助指導員、学習支援ボランティアを配置しています……

個別の学習支援が必要な子どものために、市費で教員資格を持つ指導員を配置しています。

また、学習支援ボランティアを募集し、授業での学習支援や「まなびっ子クラブ」を行っています。



【補助指導員】

小中学校全19校に各校1名以上の指導員を配置して、子どもの特性や学力に応じた、個別の学習支援を行っています。令和5年度は、小学校503名、中学校98名の子どもの支援を行っています。(10月末現在)

【学習支援ボランティア】

子どもや学校を支援しています。令和5年度の派遣回数は、1,310回です。(9月末現在)

令和5年度予算
3,849万2千円

7

「学校応援団」による学校支援を進めています

平成27年度より、小学校に「学校応援団」を設置し、地域の方々の力により子どもと学校を支援する取組を進めています。



「学校応援団」では、学校の授業や行事の支援、学校環境の整備などを行うとともに、「えびなっ子スクール」や「あそびっ子クラブ」などの運営を行っています。学校と地域の実態に応じた多様な支援活動を推進しています。

令和5年度予算
4,206万6千円

8

コミュニティ・スクール、小中一貫教育を推進しています

平成29年度から全中学校区で、子どもを9年間で指導・支援する「小中一貫教育」に取り組んでいます。

また、平成30年度には全小中学校において、学校運営協議会が設置されました。



【小中一貫教育】

中学校区ごとに共通の目標を定め、その達成にむけて小中学生の交流や教職員の話し合いなどを進めています。

【コミュニティスクール】

海老名市の全小中学校に「学校運営協議会」を設置し、「コミュニティスクール」となりました。「地域・学校の課題」「地域の子どものをどう育てるか」について、地域住民や保護者、学校教職員が共に話し合っています。

令和5年度予算
145万8千円

